

英語はもっと やさしく・短く 話そう

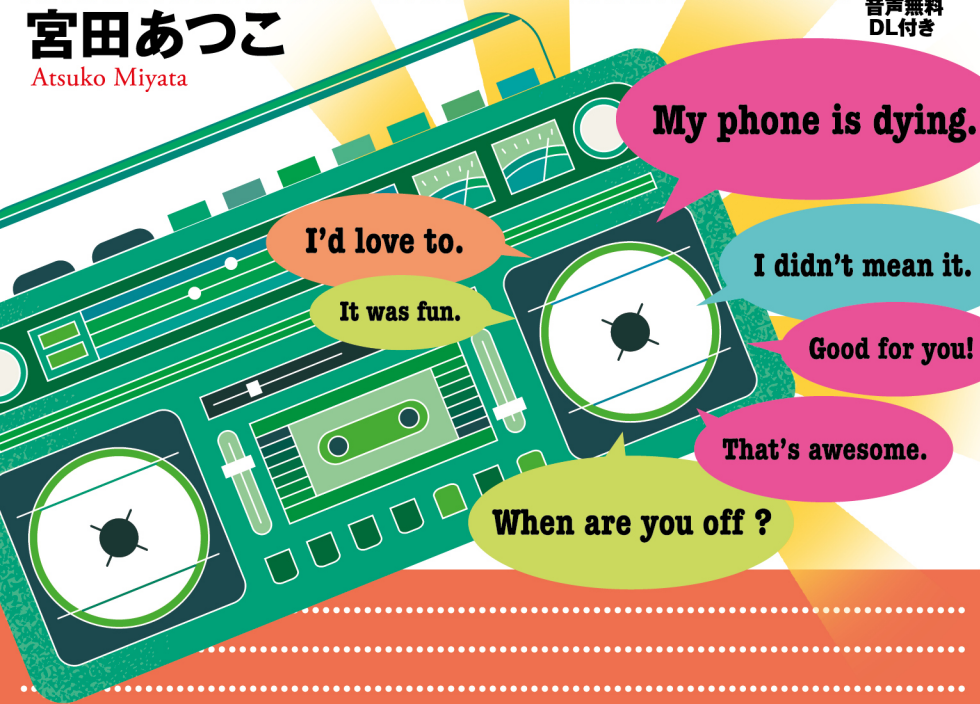
1分間英会話のすすめ



音声無料
DL付き

宮田あつこ

Atsuko Miyata



My phone is dying.

I'd love to.

It was fun.

I didn't mean it.

Good for you!

That's awesome.

When are you off ?

英語はもっと やさしく・短く 話そう

1分間英会話のすすめ

宮田あつこ

Atsuko Miyata

語研

音声の無料ダウンロードについて


本書の音声が無料でダウンロードできます。

下記の URL にアクセスして、ダウンロードしてご利用ください。

<https://www.goken-net.co.jp/catalog/card.html?isbn=978-4-87615-377-0>

または、右の QR コードからもアクセス可能です。



- 本書では音声収録箇所を  マークと音声ファイル番号で表示しています。
- 収録時間は約 57 分です。

音声は表現、会話を自然な速度の英語で 1 回だけ読み上げています。

注意事項

- ダウンロードで提供する音声は、複数のファイル・フォルダを ZIP 形式で 1 ファイルにまとめています。ダウンロード後に復元してご利用ください。ダウンロード後に、ZIP 形式に対応した復元アプリを必要とする場合があります。
- 音声ファイルは MP3 形式です。モバイル端末、パソコンともに、MP3 ファイルを自由な組み合わせで再生できるアプリを利用できます。
- インターネット環境によってダウンロードできない場合や、ご使用の機器によって再生できない場合があります。
- 本書の音声ファイルは、一般家庭での私的使用の範囲内で使用する目的で頒布するものです。それ以外の目的で本書の音声ファイルの複製・改変・放送・送信などを行いたい場合には、著作権法の定めにより、著作権者等に申し出て事前に許諾を受ける必要があります。

はじめに

皆さんは突然外国の方に英語で話しかけられて頭が真っ白になったことはありませんか。あるいは逆に、英語で声をかけてあげたいけれど何と言ったらいいかことばを探しているうちにタイミングを逃してしまって残念な思いをしたことはありませんか。また、英語圏に行ったときにもっと自由に言いたいことを伝えたり、聞きたいことが聞けたら、ともどかしい思いをしたことはありませんか。

これらは私がいやというほど経験してきた思いです。あとで落ち着いて考えたら英語でどう言うべきだったかを思いついて、どうしてこんな簡単な英語が出てこなかったんだろう、とくやしい思いをしたものです。

本書は、英語が初心者の方でも、あるいは初対面の人が相手のとっさの場面でも、自分から英語で話しかけて会話を始めて、自分からその会話を終わらせることができるようになる「英語で話す力」の基礎を身につけることを目的にしています。

外国語である英語での会話をいつ、どのように始めて、どのように展開して、いつ、どのように終わらせるか—英語での会話をある程度自分でコントロールできるようになれば、リラックスして「英語で話す」ことができるはずです。

そうした英語で話す力の基礎を学んで、積極的に英語での会話に取り組み、楽しめるようになるためのエッセンスを本書にまとめました。

私は、大学生になるまで英語が大の苦手で、人前で英語を話すなど不可能でした。いわゆる英語コンプレックスから自分を解放して、人並みになりたい。そんな思いから、私は英語に取り組むようになりました。

英語を身につけてみると、世界の多様な価値観や文化を持った友人ができ、人生がとても豊かになりました。それを可能にしてくれたのは、「できるだけやさしいことばを使って、短く話す英会話」だったのです。そのために重

要な話す英語の基礎知識と、役に立つフレーズを、実際に会話が展開される順を追ってまとめてみました。

人との出会いは予測ができません。

準備 8 割。

今すぐ英語を使う方も、そうでない方も、自分が実際に使う場面をイメージしながら、本書のフレーズをぜひ声に出して言うてみてください。目だけでなく、声と耳も使って本書を使っていたかくのがポイントです。

人の幸せは、人とのかわりの中にあると私は思います。人と人がことばを交わすとき、お互いの声や表情からも考えや気持ちをくみ取って、うれしい気持ちになるものです。

国を超えて、多くの方々と出会えますように。そして、一期一会の一瞬の会話であっても思い出に残るうれしい体験を重ねられますように。本書を通して、「英語で話す力」の基礎を身につけることで、皆さんが世界の人々と出会い、触れ合って、皆さんの可能性と人生が世界へと大きく広がっていきまことを心から願っています。

最後に本書を執筆するに当たり、ことばと心の関係をととても大切に引き出してくださった編集者の奥村民夫様、そして私が今まで出会ってきた多くの方々に感謝の気持ちを表したいと思います。本書の例文の多くは、私が今までに交わってきた実際の会話を再現したものです。本書を手にとってくださいました皆さんに、英語を通じて多くの喜びと出会いがもたらされますように。

愛と感謝を込めて

宮田 あつこ

はじめに 3

| 英語で話すための3要素

英語で話すために 9

- ポイント1：[主語+動詞]を決める 9
- ポイント2：[主語+動詞]+[追加情報]で話す 15
- ポイント3：伝える内容は短く・少なく 20
- ポイント4：前置詞と名詞との組み合わせ 25
- ポイント5：時制を使い分ける 37

|| 英語で話すための
単語の組み合わせ方

- 1. よく使う[動詞+名詞] 47
- 2. 基本3動詞以外の[動詞+名詞]の組み合わせ 55
- 3. よく使う[動詞+前置詞] 75
- 4. 疑問詞疑問文[疑問詞+形容詞・副詞] 82
- 5. 疑問詞を使ったフレーズ 91
- 6. 気持ち・感想・共感を伝える表現 94
- 7. 描写する表現 107

||| 英語で話しかけてみる

- 1. 話しかけて情報を得る 121
- 2. 場所について尋ねる 123
- 3. 時間について尋ねる 126

4. 理由・状況について尋ねる 128
5. 手助けする 130
6. 偶然の出会い 134
7. 話を切り上げる 139

Ⅳ 会話を組み立てる

1. 情報を提供する 145
2. 知り合いになる 154
3. 言いにくいことをていねいに伝える 159
4. 会話中に反応を返す 162

Ⅴ 会話を終わらせる

1. 自分から会話を終わらせる 169
2. 話ができただことに感謝する 172
3. 別れのあいさつ 175

文法メモ

5 文型／助動詞／進行形／不定詞／動名詞／接続詞 180

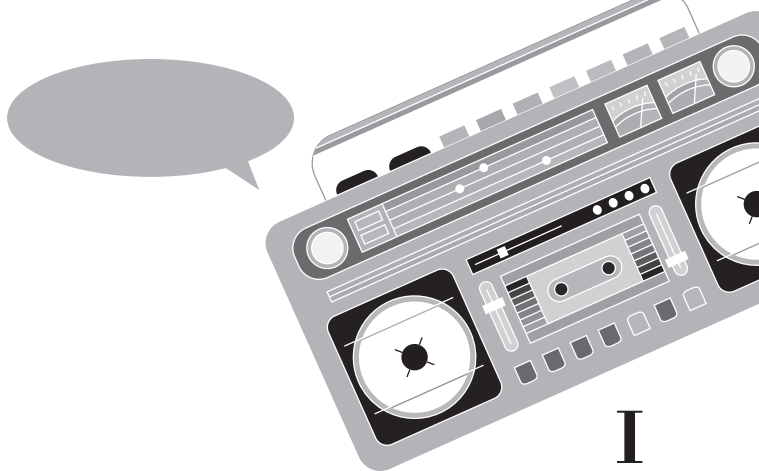
【装丁】 山田英春

【英文校閲】 株式会社 AtoZ English

【音源制作】 ELEC 録音事業部

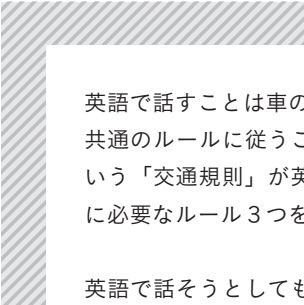
Jack Merluzzi

Carolyn Miller



I

.....
英語で話すための
3要素



英語で話すことは車の運転によく似ています。英語も、車の運転も、共通のルールに従うことで初めてスムーズに流れます。車の運転でいう「交通規則」が英語では「文法」になります。英語で話すために必要なルール3つを身につけることから始めましょう。

英語で話そうとしても文がうまく作れない、単語でしか会話ができないという声をよく聞きます。英語で話す目的はコミュニケーションを取ることですから、とにかく単語だけでも言いたいことを伝えようとする積極性は大切です。しかし、そのままでは言いたいことを伝えきれない、聞かれた質問に答えることしかできないというもどかしさが残ります。それを解消するために、英語での文作りに必要な3要素を学んで、英語でやり取りするための共通ルールを身につけましょう。

英語で話すために

ポイント 1

【主語＋動詞】を決める

英語の文には「主語」と「動詞」が必要です。「～は…です」「～は…します」という形が話す英語の基本です。疑問文以外はず主語を示し、次に動詞を続けることで文を作ります。日本語は主語を省略しても意味が通じやすいことばですから、英語を話すときには常に主語を意識するようにします。

英語で話すときはI（私は）またはwe（私たちは）で始めるようにすると、あとに動詞を続けやすくなります。相手について話すときはyou（あなたは）から始めるようにします。

一般的な「人々」を指す We

「きのう地震がありましたね」と英語で言うとき。まず次のような英語が思い浮かぶかもしれません。

There was an earthquake yesterday.

きのう地震がありました。

これをもっと簡単に言いましょう。we を主語にして「私たちはきのう地震を持ちました」と言ってみます。



001

We had an earthquake yesterday.

きのう地震がありました。

「地震があった」を We had ... という [主語＋動詞] で表します。楽ですね。

▶ 002

E: Are you OK?

J: Well, **we had** an earthquake yesterday in Osaka.

E: Oh... is everything all right with your family?

J: Yes, they're all right. Fortunately, it wasn't a big one.

E: I'm glad to hear that.

J: Thank you for asking.

E: どうかしたの？

J: 実は、きのう大阪で地震があつてね。

E: そうなの…ご家族は無事だった？

J: ああ、大丈夫。大きな地震じゃなくてよかった。

E: それはよかった。

J: 気にかけてくれてありがとう。

「自分」を指す I

沖縄旅行から戻って「沖縄に夕日がきれいな場所がありました」と伝えるとします。もちろん次のようにも言うことができます。

A sunset was beautiful in a place in Okinawa.

沖縄に夕日がきれいな場所がありました。

これも I saw ... を [主語＋動詞] にして「沖縄できれいな夕日を見ました → 沖縄は夕日がきれいでした」のように言えます。

▶ 003

I saw a beautiful sunset in Okinawa.

沖縄は夕日がきれいでした。

となります。

▶ 004

- E: Do you know any good places to visit in summer?
J: How about Okinawa? **I saw** a beautiful sunset in Okinawa.
E: Sounds nice. I've never been there.
J: I think you'd like it. The islands are beautiful, and the people are friendly.
E: Thanks. I'll think about it.
J: Great!
- E: 夏に行ってみるといいおすすめのところはある？
J: 沖縄はどう？ 沖縄は夕日がきれいだったわ。
E: いいね。沖縄は行ったことがないな。
J: 気に入ると思うわ。島は美しいし、人々もよくしてくれるから。
E: ありがとう。考えてみるよ。
J: ぜひ。

一般的な「人々」を指す You

友人をレストランに連れて行って「この店は食べ放題です」と言ってみましょう。そのまま英語にすると、

This restaurant has an all-you-can-eat buffet.
このレストランは食べ放題です。

となります。この文を You can eat ... [主語+動詞] にして言うと、「あなたはこの店で好きなだけ食べられますよ」となります。

▶ 005

You can eat as much as you want at this restaurant.

あなたはこのレストランで好きなだけ食べられます。

のように、all-you-can-eat や buffet という難しい単語を知らなくても表現できます。

ポイント 2

【主語＋動詞】＋【追加情報】で話す

まず、英語を話すときの【主語＋動詞】を【I/We/You＋動詞】に決めました。次に、そのあとに情報を加えていきましょう。まず動詞の目的語を加え、次に場所・時を続けます。この目的語・場所・時が【主語＋動詞】に情報を加える基本要素です。

会話文パターン①

[主語＋動詞]	[目的語]	[場所・時]
I like	dogs.	in my bag.
I have	an umbrella	at home
I learn	English	everyday.
I eat	breakfast	at 6:00.
I take	a bus	from Tokyo to Osaka.
I teach	Japanese	at school
		from Monday to Friday.

犬が好きです。

バッグの中に傘を入れています。

毎日家で英語を勉強しています。

6時に朝食を食べます。

東京から大阪までバスに乗ります。

月曜日から金曜日まで学校で日本語を教えています。

【主語＋動詞】＋【目的語】(～を)の順に単語を組み合わせます。この3要素の後に、必要に応じて場所・時に関する表現を付け加えます。最大で5つの要素で文を作るわけです。

否定文や疑問文も作り方は同じです。この方法に慣れると、ほかの文法事項についてもパターン化して、同じような入れ替え作業をするだけで表現の幅を広げることができます。

会話文パターン②

[主語 + don't + 動詞]	[目的語]	[場所・時]				
I don't like	dogs.	<table border="1"> <tr> <td>in my bag.</td> <td>on weekends.</td> </tr> <tr> <td>at home.</td> <td>at night.</td> </tr> </table>	in my bag.	on weekends.	at home.	at night.
in my bag.	on weekends.					
at home.	at night.					
I don't have	an umbrella					
I don't learn	English					
I don't eat	breakfast					
I don't watch	TV					
I don't speak	Spanish.					

犬は好きではありません。

バッグの中に傘を入れていません。

週末は英語を勉強しません。

家で朝食を食べません。

夜にテレビを見ません。

スペイン語は話しません。

会話文パターン③

[Do + 主語 + 動詞]	[目的語]	[場所・時] ?								
Do you like	dogs?	<table border="1"> <tr> <td>in your bag?</td> <td>everyday?</td> </tr> <tr> <td>at home?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>from Osaka to Tokyo?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>at school</td> <td>from Monday to Friday?</td> </tr> </table>	in your bag?	everyday?	at home?		from Osaka to Tokyo?		at school	from Monday to Friday?
in your bag?	everyday?									
at home?										
from Osaka to Tokyo?										
at school	from Monday to Friday?									
Do you have	an umbrella									
Do you learn	English									
Do you eat	breakfast									
Do you take	a bus									
Do you teach	Japanese									

犬は好きですか。

バッグの中に傘を入れていますか。

毎日英語を勉強しますか。

家で朝食を食べますか。

大阪から東京までバスに乗りますか。

月曜日から金曜日まで学校で日本語を教えているのですか。

よく使う [動詞＋名詞]

まず日常的な会話でよく使う [動詞＋名詞] を覚えましょう。なかでも、特に使用頻度が高く、あとにくる名詞によってさまざまな日本語の意味になる動詞 *have*, *take*, *make* から始めます。

have

have an address/a map/wifi/a charger

住所／地図／ワイファイ／充電器を持っている

- ▶ 038 J: **Do you have** a charger? My phone is dying.
E: **I have** one. Here you are.

J: 充電器を持ってる？ 充電が切れそうで。

E: あるわ。どうぞ。

have a friend/a sister/a brother/a child/ a daughter/a son

友人／姉妹／兄弟／子／娘／息子がいる

- ▶ 039 J: **Do you have** any brothers or sisters?
E: **I have** a brother. He's three years younger than me.

J: きょうだいはいいますか。

E: 弟がいます。彼は3歳年下です。

make

make breakfast / lunch / dinner / a cake

朝食／昼食／夕食／ケーキを作る

▶ 055

J: Why don't you come to my house this Saturday? **I'll make** lunch for you.

E: Thank you.

J: 土曜日にうちに来ない? お昼を作るよ。

E: ありがとう。

make a friend

友人を作る／友人になる

▶ 056

J: I stayed at a guest house when I traveled in Europe this time. **I made** a lot of friends from different countries there.

E: Fantastic! Travel is the best.

J: 今回のヨーロッパ旅行ではゲストハウスに泊ったんだ。そこでいろいろな国の人とたくさん友だちになったよ。

E: よかったわね。旅行がいちばんね。

make a mistake

間違える

▶ 057

E: I'm sorry **I made** a mistake in the document. Could you correct it for me?

J: All right.

E: すみません、その書類で間違えてしまったところがあります。修正していただけますか。

J: わかりました。

show

show your ticket/my photos/a map

切符／写真／地図を見せる

▶ 097 J: Please **show** your ticket when you enter.

E: OK. Here you go.

J: 入場するときはチケットを見せてください。

E: はい、どうぞ。

spend

spend my holiday/a day off/two days/
the long weekend

休暇／休み／2日／3連休を過ごす

▶ 098 E: How **are you going to spend** the long weekend?

J: I'm going to throw away things I don't need in my room.

E: 週末の3連休はどんなふうに過ごすの？

J: 部屋の断捨離をするつもりだよ。

tell

tell the truth/the information/
me a little bit about the story

本当のこと／情報を話す，物語について少し教えてもらう

▶ 099 J: I watched the new James Bond movie.

E: How was it? Please **tell** me a little bit about the story.

- J: James Bond の映画の新作を見たよ。
E: どうだった? 物語をちょっと教えて。

text

text you / a message

あなたにメッセージする、携帯でメッセージを送る

- ▶ 100 J: Let's meet up at seven tomorrow night.
E: All right. If I'm late, **I'll text** you.
J: あしたの夜 7 時に待ち合わせよう。
E: わかったわ。遅れるときは携帯にメッセージするね。

try

try these cookies / my best / a new system

このクッキーを食べてみる / 最善を尽くす / 新しいシステムを試す

- ▶ 101 E: I'm giving a presentation in front of my clients this afternoon.
I'm a bit nervous, but **I'll try** my best.
J: I'm sure you can do it. Good luck.
E: きょうの午後に顧客向けにプレゼンをするの。ちょっと緊張しているけど、やってみるわ。
J: きみならできるよ。がんばって。

why

why なぜ

- ▶ 141 J: **Why** did you sell your car?
E: Because I'm moving to Hawaii.

J: なぜ車を売ったの?
E: ハワイに移住するから。

- ▶ 142 J: **Why** were you off yesterday?
E: Because I was sick.

J: きのうはなぜ休んだの?
E: 体調が悪かったので。

how

how どのように

- ▶ 143 E: Excuse me, I want to go to this restaurant. It should be near this station. Do you happen to know **how** I can get there?

J: Let me see.

E: すみません、このレストランに行きたいのですが、この駅の近くのはずなんです。もしかして行き方をご存じですか。

J: 見せてください。

- ▶ 144 J: **How** was your weekend?
E: It was fun. I had a BBQ outside with my neighbors.

J: 週末はどうだった?
E: 楽しかったよ。近所の人たちと外でバーベキューをしたんだ。

感嘆

great	すごい、すばらしい
awesome	最高の、すごい
amazing	(驚くほど) すごい
cool	よい、かっこいい (カジュアル)
fantastic	とてもよい、(信じがたいほど) すばらしい

▶ 164 J: How was my presentation?

E: **It was great!**

J: 私のプレゼンはどうだった？

E: すごくよかったよ。

▶ 165 J: I made this cake.

E: **Awesome!**

J: このケーキ、私が作ったの。

E: すごい。

▶ 166 J: This building is 100 years old.

E: **Amazing!**

J: この建物は築100年なのよ。

E: すごい。

▶ 167 J: I won the concert ticket!

E: **Cool!**

J: コンサートのチケットが当たったんだ。

E: いいわね。

▶ 168 J: I got accepted into Harvard!

E: **That's fantastic!**

J: ハーバード大学に合格したわ。

E: すごいね。

無料の

free 無料の

- ▶ 229 E: Are these booklets about this castle?
J: That's right. Help yourself. **They're free.**
- E: これらはこの城についての冊子ですか。
J: そうです。ご自由にどうぞ。無料です。

忙しい

busy 忙しい

- ▶ 230 J: **Are you busy?** Can I talk to you now?
E: Of course. What's up?
- J: 忙しい? いま話してもいい?
E: いいですよ。どうしました?

親切な, やさしい

kind 親切な, やさしい

- ▶ 231 J: Let me help you carry your bag. It looks heavy.
E: Thank you. How **kind** of you.
- J: かばんを持ちましょう。重そうですから。
E: ありがとう。どうもご親切に。

Which station would you like to go to?

どの駅に行きたいのですか。

J: **Hi, can I help you? Which station would you like to go to?**

E: Thanks. I'm going to Senrioka Station.

J: OK, go to platform No.1 and take a local train from there.
It comes every 10 minutes.

E: Thanks a lot.

J: こんにちは、お手伝いしましょうか。どの駅に行きたいのですか。

E: ありがとう。千里丘駅です。

J: わかりました、それなら1番ホームに行って、そこから普通電車に乗ってください。10分おきに來ます。

E: どうもありがとう。

J: **Hello. Can I help you with anything?**

E: Yes, please. I want to change to the Yamanote Line. Which station should I go to?

J: All right. You can transfer at Shinjuku Station. Take any train from this platform. They all stop at Shinjuku Station.

E: Thank you for your help.

J: こんにちは、何かお手伝いしましょうか。

E: はい、お願いします。山手線に乗り換えたいんです。どの駅に行ったらいいでしょうか。

J: わかりました、新宿駅で乗り換えられますよ。このホームで、どの電車でもいいので乗ってください。どれも新宿駅に止まります。

E: ありがとうございます。

言いにくいことを ていねいに伝える

ここでは、言いにくいことを伝えなければならない場合に、できるだけ円滑に気持ちよくやり取りができるようなフレーズを紹介します。もちろんことばだけでなく、表情や声のトーンも明るさを心がけます。以下のフレーズで始めると柔らかさが出るので安心です。

ルール・マナーについて

文化や習慣などの違いに関して、言いにくいことを伝えなければならない場面では、次のような前置きを置いてから伝えるとよいでしょう。ことばだけでなく、明るい表情や声ではっきりと伝えれば相手も受け入れやすくなるでしょう。

308

I'm sorry, but ...

申し訳ないのですが～。

I'm afraid that

申し訳ないのですが～。

309

J: ***I'm sorry, but*** you can't use your cellphone in this hospital.

E: Oh, sorry about that.

J: 申し訳ないですが、この病院内では携帯電話はお使いいただけません。

E: あっ、すみません。

日本語での会話ほどあいづちは打たないとはいえ、話の切れ目には納得や共感などの気持ちをことばで伝えるとよいでしょう。

▶ 317

<i>I see.</i>	なるほど。
<i>That's true.</i>	確かにそうですね。
<i>Exactly.</i>	そのとおりです。
<i>You bet.</i>	もちろんです。
<i>I think so too.</i>	私もそう思います。

▶ 318

J: I checked a few restaurants for our next gathering. What do you think about this Japanese restaurant?

E: That looks nice, but I think it's a bit far away. Some people will come late, so I think the location is important too.

J: ***That's true.***

E: How about the other restaurants? Let's see if there are any better ones.

J: 今度の集まりのためにいくつかレストランを調べてみたの。この和食の店はどう思う？

E: よさそうだけど、少し遠いかな。遅れて来る人もいるから、場所も大事だと思うよ。

J: 確かに。

E: ほかのレストランはどう？ もっとよいところがないか見てみよう。

自分から会話を終わらせる

会話が始まってしまうと、相手のタイミングに合わせて会話が終わるのを待つことになってしまったり、自分から話を終わらせるのは失礼になるのではないかと気になって、なかなか会話を終わらせられないことがあります。特に英語で話しているときには、受け身の気持ちから話を切り上げにくいという状況に陥りがちです。

いつでも気持ちよく自分から話を終わらせられる表現を知っていれば、リラックスした気持ちで英語で話しかけられるようになります。そのようなフレーズを集めました。どれもていねいな表現ですから安心して使ってください。

▶ 322

Well, ...

さて、...

I have to go now.

そろそろ行かなくては。

I'd better be going.

そろそろ失礼するのがよいと思います。

I'm afraid I have to be going now.

残念ですが、そろそろ失礼しなければ。

I'd like to talk more, but I must be going.

もっとお話したいのですが、もう行かなくてはなりません。

▶ 323

J: **Well**, it was nice to chat with you, but **I have to go now**.

E: All right. Nice chatting with you. Have a nice day.

J: You too. Catch you later. Bye.

J: さて、話せて楽しかったけど、そろそろ行かないと。

E: わかった。話せてよかったわ。よい一日を。

J: そちらも。また。さようなら。

▶ 324

J: It's eleven o'clock already. **I'd better be going**. The last train will be soon.

E: OK. Thank you for coming. It was a pleasure to have you here.

J: Thank you for having me. I had a great time.

E: Come and visit us again anytime.

J: Thank you. I will.

J: もう11時。そろそろ失礼します。終電がもうすぐなので。

E: わかりました。来てくれてありがとう。参加してくれて楽しかった。

J: 声をかけてくれて、ありがとうございました。とても楽しかったです。

E: またいつでも来てください。

J: ありがとうございます。そうします。

1. 5文型

第1文型：主語と動詞だけで文が完成。

場所、時間などに関する情報を加える場合は、《前置詞＋名詞》あるいは副詞(句)の形で【主語＋動詞】の後に加える。

主語	+	動詞	+	場所・時間 (どちらも《前置詞＋名詞》あるいは副詞(句))
----	---	----	---	----------------------------------

I

私は

go

行きます

to the park every morning.

公園に

毎朝

第2文型：

人の気持ちや様子、属性(職業・国籍など)、ものの状態や性質・属性を伝える。

主語(人)	+	be 動詞類	+	気持ち・様子・属性
主語(もの)	+	be 動詞類	+	状態・性質・属性

I

私は

am

～です

happy.

幸せ

The station

その駅は

is

～です

far.

遠い

4. 不定詞

～したいと伝える。

主語	動詞	不定詞 (to + 原形動詞)	(+人・もの)
I	want	to do	
I 私は	want ～を求める	to sing ～を歌うこと	English songs. 英語の歌

～するのが好きであると伝える。

主語	動詞	不定詞 (to + 原形動詞)	(+人・もの)
I	like	to do	
I 私は	like ～が好きである	to travel. 旅行すること	

宮田 あつこ (みやた あつこ)

英語講師(講師歴22年)。生徒数延べ4万5000人。
アフリカ大陸をはじめ世界28か国をめぐる。

福井県生まれ、大阪育ち。兵庫県の英会話学校や海外の大学での講師を経て、現在は独立。英会話、TOEIC、英検対策の主要3講座を開講するAtsukoEnglishを主宰。また、大阪の大学や日本語学校でも英語の講義を行っている。

英語を習得し、目標をかなえ、多くの人に夢を実現してもらうことをモットーに、日々英語学習に関する活動を行っている。また、自身がアフリカにいた経験と、英語で話すことへの自信と喜びを教えてくれたアフリカに活動の一部を還元したいという想いから、アフリカの子どもたちへの栄養支援も行っている。

© Atsuko Miyata, 2022, Printed in Japan

英語はもっと やさしく・短く話そう

2022年1月31日 初版第1刷発行

著者 宮田あつこ
制作 ツディブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区神田猿樂町2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
組版 ツディブックス株式会社
印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-377-0 C0082

書名 エイゴハモットヤサシクミジカクハナソウ
著者 ミヤタ アツコ
著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研 

語研ホームページ <https://www.goken-net.co.jp/>

本書の感想は
スマホから↓





英語はもっとやさしく・短く話そう

ためし読みはここまでです。

Webページへ

